



今後の社会保障について考える その2

○外国人労働者

3月20日、日本経済団体連合会は、国内で労働力の確保が難しくなるなか、専門技術分野や将来的に労働力不足が見込まれる分野に外国人労働者を受入れるため、政府・地域社会が重点的に取り組むべき課題や企業のコンプライアンス体制強化等についてまとめた「外国人材受入問題に関する第二次提言」をおこないました。

〔必要性の高い外国人材〕

高度人材	将来的に不足が予想される技能者等
<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発部門全般 ・IT技術者、システムエンジニア ・先端研究開発部門 ・製造技術 ・グローバルな観点での商品企画 ・中国に関する専門家 ・国際法務の専門家 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械組立、板金、溶接、造船、設備保全等 ・看護師、介護士 ・農林水産業

提言では、看護師・介護士に関して日本・フィリピン経済連携協定の決定に沿って、円滑な受入のための環境整備とその成果の検証体制の整備を求めたほか、インドネシア、タイなどから経済連携協定のスキームを通じた人材受入の早期実現を求めています。さらに介護福祉士については、日本の資格取得を条件に「技能」の在留資格での就労を認めることで経済連携協定の当事国以外にも門戸を開くべきだとしました。

しかし、高齢化は世界的現象であり、先進国だけでなく、いわゆる発展途上国でも高齢化は確実に進んでいます。2025年にはアフリカ諸国を除き20%が高齢者になると言われています。先進国間で人材確保競争をおこなった場合、人材供給国自体の介護・福祉サービスを担う労働力が不足して高齢者の生活に大きな影響を与えてしまいます。

外国人労働者の受入れについては、受入国での影響だけでなく供給国内での影響も十分考慮していく必要があります。

○技術革新による生活改善

介護・福祉サービスにおける質の向上と効率化ためには、新技術の導入も欠かせま

せん。新技術について政府は、2月26日に「イノベーション25中間とりまとめ」を公表し、2025年に目指すべき日本の社会のイメージを示しました。

ホームページ参照 <http://www.kantei.go.jp/jp/innovation/chukan/gaiyou.pdf>

中間とりまとめでは、国民生活や生産性の向上を目指し、5月末までに具体化すべき政策課題として、「環境を経済成長と国際貢献のエンジンに」「大学改革」「イノベーション創出・促進に向けた各種規制・制度・ルールの見直し」「イノベーション立国に向けた推進体制の整備」「次世代投資倍増(若者への投資、IT利用拡大に向けた取組み)」「20年後のイノベーション開花に向けた科学技術投資の抜本的拡充」を示しました。今後、政策ロードマップを作成し、5月末をめどに最終報告がなされる予定です。

保健福祉分野では、イノベーションで拓く2025年の日本を実現するために必要な技術例として、IT、再生医療技術による自立支援や、ロボット技術による介護支援などを挙げています。

〔イノベーション25に必要な技術例〕

- ① 脊髄・抹消神経を介さずに義肢などを随意的に制御することを可能とする脳の運動関連活動の信号化・伝達技術
- ② 被介護者に不快感・不安感を与えず、入浴等について介護者を支援する介護ロボット技術
- ③ 都市公共空間において高齢者や身障者(目の不自由な人)が安心して自由に行動できる情報を提供するユビキタスコンピューティング技術
- ④ 高齢者、身体障害者が情報ネットワークに参加しやすい情報端末機器及びソフトなどのヒューマンインタフェース技術
- ⑤ 障害者、高齢者の社会生活が格段に拡大する、高性能移動・歩行支援機器制御技術
- ⑥ 障害者・高齢者のハンディキャップ克服のため、視覚・聴覚など五感の感覚を補綴するためのメカトロ技術、再生医療技術、生体インタフェース技術
- ⑦ 運動麻痺の回復を促進する神経幹細胞移植等の再生医療技術

新技術は高齢者や障害者の可能性を大きく広げます。しかし、利用者から不安を無くし安心を与えるといった精神面の支援に必要なのは人の心です。

安全・安心で、質が高く、効率的な介護・福祉サービスの提供のためには、質の高い人材と新技術を利用した機器を組み合わせ活用していく必要があります。

Information

福祉・医療関連 海外展示会スケジュール(2007年～2008年)

国名	展示会名	会期	会場	前回実績/主な展示物	主催者問合せ先		
ドイツ	REHAB	2007年5月10～12日 (隔年開催)	カールスルーエ	2005年: 21,860人来場 14ヵ国491社出展	展示面積25,470㎡ リハビリテーション、 介護用品	Mr. Stefan Staufert Staufert Veranstaltungsservice GmbH Am Kornfeld 7 D-44267, Dortmund, Germany Tel: +49-2304-649282 Fax: +49-2304-983796 Email: info@rehab-fair.com www.rehab-fair.com	
	ORTHOPAEDIE + REHA-TECHNIK	2008年5月21～24日 (隔年開催)	ライプチヒ	2006年: 83ヵ国14,900人来場 37ヵ国393社出展	展示面積23,000㎡(gross) 整形、リハビリ、 医療サービス	Mr. Ronald Beyer Project Director Leipzig Messe GmbH Messe-Allee 1, D-04356, Leipzig, Germany Tel: +49-341-678-8265 Fax: +49-341-678-8262 Email: info@ot-leipzig.de www.ot-leipzig.de	
	Altenpflege+ProPflege	2007年3月20～22日	ニュルンベルグ	2006年: 37,300人来場 18ヵ国721社出展	展示面積 49,410㎡(gross) / 22,052㎡(net) 介護従事者教育、 介護新技術紹介	ニュルンベルク・メッセ日本代表 エービーシーエンタープライズ 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-11 フキデハイツ305 Tel: 03-5404-7351	Fax: 03-5404-7352 E-mail: abc@inter.net www.propflege.info www.nuernbergmesse.de (ニュルンベルグ) www.heckmannngmbh.de (ハノーバー)
		2008年2月12～14日	ハノーバー				
	MEDICA	2007年11月14～17日 2008年11月19～22日	デュッセルドルフ	2006年: 137,503人来場 62ヵ国4,251社出展	展示面積117,818㎡(net) 医療機器の展示	デュッセルドルフ見本市日本代表部 (株)メッセ・デュッセルドルフジャパン 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート7F Tel: 03-5210-9951 Fax: 03-5210-9959	MEDICA: www.medica.de www.messe-duesseldorf.de
REHA Care INTERNATIONAL	2007年10月3～6日 2008年10月15～18日	デュッセルドルフ	2006年: 51,087人来場 31ヵ国848社出展	展示面積31,012㎡(net) リハビリテーション及び 障害者用機器と介護用品		REHA Care INTERNATIONAL: www.rehacare.de	
フランス	Autonomic	2008年6月10～12日 (隔年開催)	パリ	2006年: 31,140人来場 426社出展	展示面積20,000㎡ 障害者の自立、 在宅介護のための機器	Ades Organisation - Autonomic and Handica Exhibitions Le Lugo, 15 rue du Docteur Roux 94600 Choisy le Roi, France Tel: +33-1-46-81-75-00 Fax: +33-1-46-81-77-00 Email: info@autonomic-expo.com www.autonomic-expo.com	
	GERONT EXPO	2007年5月22～24日 (隔年開催)	パリ	2005年: 11,000人来場 350社出展	展示面積19,000㎡ 福祉機器、医療機器、 施設用設備	Ms. Fabrice Giraud International & Manager PG PROMOTION 21, rue Camille Desmoulins 92789 Issy les Moulineaux Cedex 9 France Tel: +33-1-73-28-15-28 Fax: +33-1-73-28-15-81 Email: fabrice.giraud@fr.cmpmedia.com www.gerontexpo.com www.hopitalexpo-intermedica.com	
	HOSPITAL EXPO- INTERMEDICA	2008年5月 日程未定 (隔年開催)	パリ	2006年: 24,000人来場 750社出展	展示面積21,000㎡ 医療機器		
英国	Naidex & Kid e Quip	2007年4月24～26日 2008年未定	バーミンガム	2006年: 15ヵ国10,394人来場 8ヵ国321社以上出展 展示面積6,813㎡	福祉サービス従事者、 障害者、 高齢者のための福祉機器	Ms. Liz Virgo Sales Manager - Rehab Events Team Emap Public Sector Ltd Greater London House Hampstead Rd., London NW1 7EJ U.K. Tel: +44-20-7874-0487 Fax: +44-20-7874-0217 Email: liz.virgo@emap.com www.naidex.co.uk	
デンマーク	Rehab Scandinavia Cure & Care	2007年5月8～10日	フレデリシア	2006年: 31ヵ国8,217人来場 約15ヵ国229社出展	展示面積8,336㎡ 福祉機器、 病院用設備全般	Ms. Philip Schumann Sales Manager FORSORG & HOSPITAL Bredballe Byvej 63, DK-7120 Vejle, Denmark Tel: +45-75-81-4088 Fax: +45-75-81-46-05 Email: info@rehab-scandinavia.com www.rehab-scandinavia.com	
		2008年5月6～8日	コペンハーゲン				
アメリカ	Medtrade	2007年10月2～4日	オランダ	2006年: 855社出展	介護、福祉機器、 医療機器	Ms. Elizabeth Sommerville Show Directory The Nielsen Company 1145 Sanctuary Parkway, Suite 355 Alpharetta, GA 30004-5423 U.S.A. Tel: +1-770-291-5456 www.medtrade.com www.medtradespring.com	
		2008年10月28～30日	アトランタ				
	Medtrade Spring	2007年4月24～26日 2008年5月7～8日	ラスベガス ロングビーチ	2006年: 425-450社出展	主に医療機器		
台湾	Mediphar Taipei	2007年11月8～11日 2008年11月6～9日	タイペイ	2006年: 46ヵ国 60,635人来場 10ヵ国 279社出展	展示面積13,000㎡ 福祉機器、医療機器、 病院用設備、医薬品	Ms. Sharon Su Show Manager TAITRA (Taiwan External Trade Development Council) Exhibition Sec. 2, Exhibition Department Rm2A12, 5 Hsin-yi Road, Sec. 5, Taipei 11011, Taiwan Tel: +886-2-2725-5200, Ext. 2661 Fax: +886-2-2722-7324 Email: mediphar@taitra.org.tw http://www.mediphar.com.tw/	